

東京教区時報

WEB: <http://www.nskk.org/tokyo/index.htm> E-MAIL: comm.tko@nsk.org
Phone: 03-3433-0987, Fax: 03-3433-8678 Diocese Office

第1198号
2011年3月6日発行
日本聖公会東京教区
港区芝公園3-6-18
編集人 英 久子

◇3月の代禱・施設奉献先
▽東京教区神学生のため(大斎節第1主日 3・13)▽教区青年活動のため▽いのちの電話の働きのため▽浦安伝道所・浦安宣教のため

《奉献先から》 浦安伝道所の今

約30年前千葉県浦安市に住む一信徒の祈りによって始められた家庭集会は、今、新しい展開を迎えようとしています。きっかけは2009年9月日本聖公会宣教150年記念礼拝のスロークン「こぎ出せ、沖へ」です。浦安に集う信徒たちはその主旨の標語に込め、沖にこぎだそうとしています。新しい地域にふさわしい新しい教会づくりをめざしています。浦安の地に聖

公会の教会があり、毎主日礼拝が守られ、地域社会と密着した、日ごとの宣教活動が続けられる拠点を望んでいます。これこそ「こぎ出せ、沖へ」の実現だと信徒一同切望しております。

(副牧師司祭村上守旦)

▽「聖地ろうめ子ども里」 ワークキャンプ 教区「エルサレム教区協働委員会」主催。1

50人を超える耳の不自由な、

したがって発語に困難さをもつ子ども達が共に生活し学び、職業訓練を受けており、参加者自身、深い愛に包まれ新しい勇気を与えられる。9月3日(土)〜18日(日)、ヨルダン首都アンマン郊外ソールト。定員約15人。申込期限3月31日。詳細照会教区事務所宣教主事宛。
*主教按手式並びに第9代教区主教就任式特別号を本日発行。
(広報委員会)

今週・来週の予定 3月6日～3月19日

- | | |
|-------|--|
| 6(日) | 大斎節前主日
主教巡回：東京聖
十字教会 |
| 7(月) | 分担金制度特別
委員会
聖職養成委員会
エルサレム教区
協働委員会 |
| 8(火) | 銀座朝教会 |
| 9(水) | 大斎始日 灰の
水曜日 |
| 10(木) | 下町G教会協働：
エルサレム協働：
女性部 協働：
外濠G教会協働：
貧困問題P
宣教協議会
常設委員会 |
| 11(金) | 広報委員会 |
| 13(日) | 主日 |
| 14(月) | 人権委員会
(管区)会
宣教協議会
教者委員会 |
| 16(水) | 宣教協議会
教者委員会 |
| 17(木) | 財政委員会 |

《掲載記事転用の場合は事前連絡のこと》

司祭に按手されて42年目を迎えた。浅草聖ヨハネ教会が、初めて牧師として派遣された教会。それ以来、教区内8つの教会で牧会の任に当たってきた。殊に、30、40歳代の頃には、使命感に燃える余り、理屈と空回りの連続だったような気がする。そんな中で、信徒の方々から、心の深くにある人間の矛盾と複雑な感情とを生の交わりを通して、学ばせていただいた。また、至らない牧師を大いに叱咤・激励していただいたことも感謝のうちに思い起こす。「牧師は、信徒によって育てられる」と言われていた言葉に甘えて。特に、若い司祭の皆さんに申し上げたい。神学校で学ぶ以上のものが、あなたの周りにいる信徒の中から得られる

《み手のなかで》

教会の豊かな宝

司祭 河野 裕 道

ことを。4月からは、定年となり囑託として引き続き礼拝・宣教の任に当たることになる。直接の司牧責任からは、開放される。今まで出会った方々、8つの教会の信仰の友を自由な形でお尋ねし、信仰の継統とその喜びを確かめ合いたいと願っている。教会に連なることが、いかに豊かで素晴らしい恵みの中にあることなのかを味わいたいと思う。主教さんのお許しと当該教会の牧師の寛大な取り計らいを得ながら。協働の輪が確実に広がり、教会の枠を超えた信徒の交わりが深まっていきましたように願いながら。大斎節を目前に、教会に与えられているキリストの愛と赦しの豊かな賜物にしかりと与って生きたいものである。
(聖愛教会協力司祭)

信仰と生活委員会報告

(2月17日)

* 宣教主事、各委員会・教会グループ等の報告。

* 常置委員会推薦委員について報告と協議。

* 定期教区会提出の10年度活動報告について協議。

* 「こどもの聖歌を歌う会」を6月4日(土) 聖パウロ教会で開催することで準備を進める。

* 『裸足の宣教』の各教会、教会Gでの展開と今年度の進め方について協議。

* その他。

▽ 聖パウロ教会ウオルフマンガ・ツエラーパイプオルガンコンサート 3月18日(金) 19時、同教会。入場料(オルガン修復基金のため) 前売り3千円、当日

3千5百円、学生2千5百円(要学生証)、高校生以下千5百円。照会・申込TEL(3710) 6031・会場教会。

【大斎節公開プログラム】2

* 主日の場合は午後開催を掲載
▽ 浅草聖ヨハネ教会 学びのプログラム「カフェ・エクレシ

目白聖公会・牛込聖バルナバ・東京諸聖徒・東京聖テモテ

《2010年

教会グループ活動報告》

3 外濠

「来年もやりますからまた来て下さい」。

昨年12月11日に目白聖公会で行われた第10回を迎えた「みんなでつくるバリアフリーのクリスマスパーティー」。例年以上の96名の参加者で盛会だったパーティーの終わりに、わたしたちから自然に出た言葉でした。

4 教会の小さな教会グループですが、車ならほぼ15分以内で行き来できる利点を活かし、各教会の

《掲載記事転用の場合は事前連絡のこと》

行事等に相乗りするなどして無理のない活動に努めています。たとえば：

大斎行事としては、目白聖公会のテゼの祈りと歌に竹内謙太郎司祭の「主教の働きについて」の講演会を併せて行いました。

恒例行事となった聖木曜日の礼拝・洗足式は幹事教会の持ち回りで行っていますが、昨年は聖テモテ教会で行われ、聖公会神学院の成成鍾司祭に説教をお願いしました。

8月22日には聖テモテ教会で竹内司祭による「信徒奉事者のはたらき」についての講演会、合同夕の礼拝と納涼の集いを開催し交流のときを過ごしました。

4 教会それぞれが大きな課題を抱えています。牧師協議会

及び隔月のグループ協議会においてますます協働態勢を深めていきたいと考えております。

(幹事・東京聖テモテ 横山融)

4 多摩

八王子復活・聖パトリック・聖マルコ・小金井・滝乃川学園聖三一礼拝堂

2010年度の幹事教会は聖マルコ教会で、多摩教会グループ協議会は主に聖マルコ教会で開催致しました。昨年の特記すべきことは、4月29日に行われた多摩全生園での環状グループ合同礼拝に参加したことと国立ハンセン病資料館の見学でした。多摩グループでは「ハンセン病への学びを深めた」という願いがあり、小さな一歩ですが、実現出来てよかったです。

今の課題は「信徒奉事者を含めた広い考えの奉仕」についての理解でしょう。奉仕職として学びを深める方策を検討しています。竹田眞主教の時に、「信徒奉事者についての研修」が行われ、竹田主教の執筆された論文が印刷配布されました。今回は聖パトリック教会のメンバーがこれをパソコンで打ち直して、あらたに編集して教材化することにしました。各教会で学びと討論を経て、新しい奉仕職のあり方を模索するのが、現在の課題となることでしょう。

4月からは多摩グループの教役者が人事で変わりますが、与えられた課題を協働しながら進むことになりました。

(幹事・聖マルコ司祭前田良彦)